



平成 18 年 8 月 29 日

各 位

会社名 株式会社ディーワンダーランド
代表者名 代表取締役社長 久野 哲彦
JASDAQ・コード 9611
問い合わせ先
役職・氏名 取締役管理部長 脇村 正紀
電話 03 - 5421 - 6111

平成 18 年 9 月期通期業績予想（個別）の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、当社の平成 18 年 9 月期（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）通期の業績予想（個別）について、平成 18 年 5 月 26 日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 9 月期通期業績予想（個別）の修正（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	486	92	700
今回修正予想（B）	271	212	597
増減額（B - A）	215	120	103
増減率（％）	44.2		14.7
（ご参考） 前期実績(平成 17 年 9 月期)	221	82	106

（金額の単位：百万円）

2. 修正の理由

当社のITソリューション事業の一環として平成16年10月に立ち上げた大型システム開発案件の遅れにより、売上の一部が来期にずれ込むことが予想されることから、売上高は前回の予想に対して約215百万円減少する見込みです。利益面におきましても上記大型案件立ち遅れに伴う製造コストの上昇、増資に伴う証券代行諸費用の増加等により、前回予想に対して、経常利益では約120百万円、当期純利益では103百万円の減少となる見込みです。

なお、当期純利益につきましては、連結子会社の最近事業年度における業績の動向などを踏まえ、当社グループの法人税上の課税所得を考慮し、税効果会計に基づく、当期純利益の調整項目として法人税等調整額1,274百万円を計上しております。

また、連結の業績の見通しにつきましては、子会社の株式会社大黒屋におきましては主力地域である新宿地区に競合他社の出店が相次ぎ、売上および買取仕入れが前年同月比マイナスで推移しているものの、大阪ミナミ店の新規出店効果や既存店における組織の合理化、効率化、経費削減などの経営効果が寄与し、売上、利益ともに増加しており、連結での業績予想は小幅な減少となっております。

(ご参考)平成18年9月期通期業績予想(連結)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,105	395	805
今回修正予想(B)	5,071	334	679
増減額(B-A)	34	61	126
増減率(%)	0.6	15.4	15.6

(金額の単位:百万円)

(注)上記の連結予想は、連結子会社の業績については連結初年度の為、平成18年4月1日から平成18年9月30日までの期間の数値となっております。

(注)当該予想は、本資料の作成時点で入手可能な資料に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以上